

刊夕 日一廿月九

常警日新聞

定価 一月五拾圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
 廣告料 五圓以上 一頁一圓 一頁五拾圓
 日曜 祭日 翌日 休刊
 發行所 常警日新聞社
 印刷所 常警日新聞社
 電話 六三〇番

獨占主義 (三)

M T 生

この獨占主義はひとり社交上に於てばかりではない。俳優などの場合にも屢々見ることである。例へば一人の女優が特に有名であり、又技術に於ても優れてゐることからいつの演劇に於ても彼女が主役を占めるやうなことがある。これは観客には好感を興へることであり、従つて彼女をしてその人氣を博せしむることでもあるが、他方に於ては彼女一人に主役を常に務めしめるといふことは、その俳優仲間自ら不平不満を惹き起すことであらうと思ふ。其の結果は世間に對しては

ノート

總べての瓦斯中毒は新鮮な空氣の場所へ頭を低くして臥せ夜類をゆるめ酔を布に浸して鼻にあて人工呼吸を行ふ

有名であり、人氣もあるに拘らず、仲間にあつては自然に孤立して来るやうになることが少くない。これ全く獨占主義といふことが果をなしてあるやうに見える併しこの女優の場合の獨占主義は、彼女自身これを主張し實行するのではなく、

或は興行主がさうさせるのかも知れない。併しそのいづれに拘らず、世間の人氣に反してその仲間からは孤立の傾向を示すに至ることは當然である。

又、我が國が滿洲國の獨立を扶け、進んで其の獨立を承認したといふことは東

◇……◇
 明日の献立
 ◇……◇

- 【朝】 味噌汁——しじみ 小付 かきのり
- 【晝】 南瓜煮付
- 【晚】 いか 胡瓜三杯酢 いかのあし焼 とうふ

洋の平和の爲め確かに結構なことであるが、やはり門戸開放機會均等といふことで、他の諸外國がこれに對するのと同じ態度を持し特に獨占主義を主張しないやうにすることは國際上極めて大切なことではあるまいか。改めて云ふまでもなくいづれの獨立國でも他の國に對して同様の關係を持つべきである。尤も實際の關係から、その或る國に對して他の諸國が持つ關係は、自ら相違あるべきは已むを得ないことである。併し或る一國が他の國に對して獨占主義を主張することは、丁度多數の人の間に於て或

一人が獨占主義を主張すると同じく、國際上に不快不滿を招くに至るは當然のことであると考えらる。これ即ち社交上の獨占主義が他からして嫌惡を以て見られるのと同じではあるまいかと思ふ。斯く考へ來ると社交上に於ても獨占主義の常態に他からして排斥せられるものであることが明瞭である。



松村 美那子

ときどき灯影近く 秋は掌をかざして見る けしの花はあかあかと いづばいに咲いてゐる 散ることのないけしは つねに私の掌の中に咲いてゐる健康は 故郷を持たない十の櫻貝を形成し 蒼穹を知らない十の蠟月をやとす 明り窓に倚りしじみと 私は掌をのぞく 外の光にあきらかに映し 出された掌の條 切れてある生命線を氣にして 永いながい時を過す

秋!!! 酣はの秋!!!

ドライブ……訪問……には……是非! 素晴らしく乗心地のよい セリザワのニューカーを御用命下さい。

平・三 芹澤タクシ 電話 395番

運動の好季節

▲野球用具 ユニホーム類
 ▲競技用具
 一チーム御注文は特に割引仕候
断然!!! 安價
 競技用スパイク
 常に新しき型と、念入な仕上げ! 弊店自慢の……製品 四、五〇カ
 平町田町
 御用は! **大塚運動具店**
 電話七十七番

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九番
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は 人の生命なり

今年も例年通り……
かまぼこ 製造
お徳造

相はじめました何卒御用命の程!
 平町一丁目
平藤寛
 電話一四一番

内科
川井内科診療所
 川井安子
 平町(電話二四三番)

吉田眼科病院
 平瀬屋町 電話六八番
 醫學士 吉田 久雄

外科 内臓 外科
レントゲン線
 醫學博士 諸橋 鐵彌
 ◎新川町二七(電四六四)

暴風・襲來す

薄氣味悪い警報

今晚から明朝かけて……

最も險呑?

平地方は二十日、二十一日も無事に経過したので農家等は一安心の態であつた。ところが昨日夕方から降り出した雨に今朝風勢加はり正午頃からは天日暗く俄然風調子の荒れ氣味となり辰巳風物凄く樹木の吹き倒さるゝもの、煙突屋根看板等の倒壊、ラヂオアンテナ線の切斷等に相次ぎ電燈、動力電信、電話等の各線に多少の被害あり午後一時小名濱測候處からは「今晚より明朝にかけて最も警戒を要す……」との薄氣味悪い暴風警報が發せられた、此の儘の氣壓の配置で益々風速が猛烈になれば平町地方は本年初めての颶風慘湯に見舞れる譯で目下の處人心胸々たるものがある。

電信や電話線が

颶風の爲め不通

關西附近被害甚大の模様

平郵便局で取扱ふ關西附近四國、山陰、山陽、九州、朝鮮、臺灣、滿洲への電信電話線は今朝來の颶風の爲め不通に陥つたので目下は遅延承知のもの許りを受付けて居るが關西の被害は相當多い模様なので回復に手間とららしいと

体操視察

平第一指導者

平第一小學校では既報の如く來る十一月十六日古川本縣視學及び千田体育主事が体操、遊戯、教練等視察

交通違反は

無燈火が最高

平署管内に於ける昨年度中の交通違反による料留拘留處分件数は左の如く合計四百七十七件の多きに達してゐるが最高は流石に無燈火の百九十一件で之に次で自轉車の二人乗り九十六件であるがこの外に刑事事件となつたものに業務上過失傷害二十一件(うち致死三件)自動車取締令違反六件がある無燈火一九一、自轉車二人乗り九六、泥濘飛沫防止なきもの四七、乗車臺なき荷馬車に口取なく乗車通行したもの二二、完全なる御具なき馬に口取りなく乗車したもの一一、トラックの無許可制限外乗車一〇、泥酔徘徊して交通を妨害したもの八、道路に物品を放置して交通を妨害したもの七、その他一八

四百米繼走

濱三郡出場の練習

平第一小學校体育部では三十日双葉陸上運動會當日開催される濱來郡兒童四百米繼走に尋常科、高等科共に出場する事と決定目下必勝を期し猛練習中であるが高等科チームは昨年優勝しただけに今年も非常な意氣込みを見せてゐる

楽隊入りで

宣傳ビラを撒布

交通安全の最善を期す

平署では來る二十五日より三日間縣下一齊に催される交通安全デーに際して趣旨の徹底を計る爲め第一日目の二十五日は平署係官外各關係者が數臺の自動車に分乗樂隊入りで管内町村限なく巡回して宣傳ビラを撒布する外講演その他により大宣傳を行ふべしと大童輩となつて準備中である

交通安全の座談會

けふ平署に

平署では既報の如く今二十一日午前九時から同署會議室に青沼町長、小林平土木監督所長、各公私立學校長各商工組合長、各區長、各種團體代表等七十餘名を招き交通安全に關して協議、

法曹團の應援歌

來る二十三日郡山市麓山グランドに開かれる縣下法曹團對抗野球大會に「我こそは」とばかり物凄く鼻息で平法曹團の面々堂々出場す

平町から比島へ

電話で話が出来る

既報過般逓信省より縣下の國際電話取扱局に指定された平局は郡山局と共に愈々來る廿七日より先づ東京中央電話局より米領ヒリッピンマニラ局を中經して行はれる日比國際電話が開始される事となつたが平町の市内電話は規定の料金を拂へば何番からでもヒリッピンをモシ／＼と呼べる譯であるが通話料金はヒリッピン全國の各局を三區に分け一區各局との通話料は一通話三分間卅五圓、二區各局とは卅九圓、三區局とは四十五圓で此の外三區五十錢を増せば電話加入者以外の呼出も通話者の指定も出來、

る事になつたので應援團長の登記所主任村上清一氏が無精悍の伸びた頬をこすりながら左記新作の應援歌練習に餘念がない

一、あ、天日の輝きに 自尊の旗風吹き靡く 法曹健兒の血は逆り 茲に立ちたる野球場
二、朝夏井の清流に 夕陽伽井の靈峰に 心を清め身を耐えたる 法曹平の名も高し
三、肌つんざく寒き日も 融くる夏の日も 磨き鍛へしこの健腕の 試練は今ぞ血はをどる
四、聞けよ雄叫び應援の 溢るゝ意氣は天を衝く 槍舞臺のあゝ一戦に 奮へ吾等が法曹團
五、打てよ熱球カッ飛ばせ 法曹平の双肩に 擔る使命實に香ばしき 勝利の名譽榮冠ぞ

通知番號の指定は一圓七十五錢増と云ふ便利さがある

初等教育出席 縣下小學校初等(圖書)教育協議會は來る十一月十六、七、八の三日間福島師範附屬小學校に於て開かれるが石城支部よりは左記訓導が出席すると

平第二海野警男 同第三長谷川榮 田人佐藤清美 泉鈴木孝雄 磐崎第一高木愛治 四倉助川光夫

飯野農業座談 飯野村農會では二十四日午前九時から同村小學校で(可)年團並に男女青年聯合の農

事座談會を開く
農事實行設立 高久村農會では二十三日午後一時から同村小學校で農事實行組合設立協議會を開き郡農會柴田技手出席する

宗正らひた

美味! 芳醇!

山崎合名會社
電話一〇番

一冊の代金で
御希望通りな

五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎巡 回文庫

電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

傳家の寶刀で

縦横無盡に暴る

親一人子一人の身が

甲種合格で遂に發狂

「狂人に刃物」を地でゆく—
湯本町字天王崎比佐喜一郎
(二)は今二十一日午前九時頃突然發狂、刃渡一尺五寸の傳家の寶刀を揮つて誰彼の見境ひなく斬りつけんとするの

場にはブチ込んだ、同人は今春東京の某工手學校を卒業建築會社に
勤務中 去る六月實父彦作が死亡したので退職歸郷し母のヒロさん(〇)と二人きりでか細い生計を立てゝゐるうち去る徴兵検査に甲種合格となり後に殘る母の身を案じて遂に精神に異常を來たしたものと見られ附近から同情されてゐる

急報に

より平署員三名が自動車で急行、この狂人を附近民と協力包圍し疲勞するを待つて劍道二段の渡部温部長が腕相撲の妙計で難なく取捕へ平署の留置

衝突漁船

血塗れ喧嘩 憤慨して乗來る

水野漁業組合長重傷

昨二十日正午頃鰯を満載水揚げすべく小名濱港へ入港の三重縣渡會郡島津村高井初太郎所有發動漁船泰平丸(五〇ト)は同町水野庄次郎所有高德丸に衝突されたので泰平丸船長小谷賢藏(三)外數名が憤慨し高德丸に飛込み商談中の同町川村多吉(四)同鈴木七郎(七)の

高麗橋の

渡り初め

土木委員協議

平町では二十六日午後一時から土木委員會を招集左記議案に就き協議する
一、特賣地價格決定
一、道路位置變更に伴ふ舊道路敷地並に古橋處分
一、高麗橋渡橋式準備に關する件

公民學校

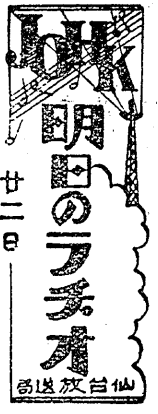
生徒募集

既報來る十月一日より授業を開始する平商業學校内實業公民學校は去る十五日より郡下各所にポスターを掲示し生徒募集集中であるが本日迄既に五名の志願者ある由

教員繪畫

展覽會開催

平第二小學校渡邊、橋本、海野、松本、草野の各訓導より成る二三會では來る二十三、四の二日間マルトモホールに於て繪畫展覽會を催し一般に公開するが併せて同校に於ける兒童の優秀



明日のラジオ

廿二日
今晩は北東の風 強く雨明日は北西の風小雨後天氣良くなる

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間 歌とお稽古 ダン道子
後六、二五 基礎英語講座 (六)岡倉由三郎
後七、三〇 講演「最近の金融形勢に就いて」日本銀行理事 堀越鐵藏
作品も出陳される筈

バザールに併せて

附近小學生徒の音樂會

警女バザールは來る十月二十八、九の兩日昨年同様化學部、裁縫手藝部、生徒各成績品部、食堂部等に別かれて催される事は既報の如くであるが今年には附近各小學校と聯絡を取り音樂會を併せて開催一般觀覽者に公開する事になり本日夫々出演方の依頼狀を發した

密漁發覺

出漁停止さる

江名町吉田豊吉所右漁船第二福田丸は去る七月二日茨城縣久慈濱東方海上の禁漁區で密漁を行つてゐたこと同縣漁業監視船に發見され取調中であつたが昨二十日農林省から五十日間の漁業停止處分に附する旨縣を通じて江名町に通牒があつた

圖書展へ出陣

各小學校は來る十一月十六、七、八の三日間福島男子師

明日の

前六、三〇 基礎獨語講座 (六)岡本修助
前七、〇〇 聖典講義 牛岡六勝平大喜
前九、一〇 料理献立 山崎とせ
前一〇、三〇 家庭講座 一實生活に即したる到彼岸 本城瑞暈
前一一、〇〇 彼岸會法要 (第二日)天臺宗上野東叡 山輪王寺より中繼
前一、五〇 野球試合實況 六大學野球リーグ戦
にて中禪寺に至り華嚴の瀧、立木觀音中宮祠等附近散策の上自動車にて東照宮に至り廊内拜觀の後歸途

上野野農會

上野野農會では三十日午前九時から上野野小學校で農事講演會を開き郡農會柴田技手の二毛作講演ある

平商遠足運動

平商は來る二十六日關井嶽方面に全校生の秋季遠足運動會を催すと

委託金を横領

平町新川町小菅健之助(三)は昨年十二月在京中平町三丁目久藏氏二男大谷行雄さんから兄の許へ届けて呉れと依頼された現金三十餘圓をそのまゝ着服遊興に費消したこと發覺昨二十日平署に檢舉された

窃盜犯人判明

平町五丁目染物業町會議員馬目武之助氏が去る二月十一日午後二時頃所用の爲め郡山に出張、同驛待合室に置いた現金五十二圓六十二錢入

平職案紹介所報告

回人を求める方
製糸養成女 十五—二十才迄 尋卒以上 給料面談 炭採夫 四十才以下 學力不問乃 給料七十五錢 至一圓五十錢
△出前持 十五—十八才位 尋卒 月三圓位
△農夫 二十才以上 學力不問 月十二圓
△販賣外交員 二十一—三十才位 尋卒 月二十圓
回職を求めめる方
△旅館番頭 四十五才 尋卒 四修
△女中 三十九才 高卒
△鍛冶工見習 十九才 尋卒
△土工夫 二十九才 尋卒
△事務員 二十四才 高卒
△海産雜夫 二十三才 高卒
△商店員 二十九才 高卒

浮名比調頭

(續前上段及上段)

田邊南龍(作)
山本芙蓉(繪)

一四〇：
俠客達が救ける

登之助は尚も言つた。
「倭でもよい、包んで知れないやうにして渡を越さう一思ひに殺したでは曲がない、腕前の勝れて居るものが斬つたのでないから死ぬ程の傷ではない、十二、三ヶ所斬つてあるやうだが蘇生をすることに違ひない、蘇生をしたら鳴神其方の庭へ緊いで菊地源六に頼り殺しにさせよう」

「左様でげすな夫れも宜うございませう……先生何うです、御前様有難う存じます……兎分の衆、近邊の百姓家へ行つて薙でも菰でも俵でも宜しいから繩を添へて買つて来て呉れ」
「へい」
と兎分の奴は飛んで行つたがやがて引返して来た
「へい買つて来ました」
「イヤ早いな」

菰に包んで大勢して擔いで大川の渡を越した、もう日はトツブリ暮れて居る。
「大分腹が空いたから途中で一杯飲んで飯を食はなきやアならねえ、みんな何うだらう」
「親分が然う仰しやりさうなものだと先刻から待つて居たんです」

「喰ひ意地の張つた奴等だな」
「コモ包は何うしませう」
「構はねえ、菰包みになつて居るから他人にや知れねえだらう……御前様如何です」



神も佛もないが向島の騒ぎを聞いて驚く人もある見て居て慄へた人もある、中に淺草の田原町に住居つて居る儀兵衛と云ふ人があつた之が仁兵衛に同情をして大川の渡しを大勢の者と一一緒に渡つたが、廣小路の料理屋で一同が酒を飲んで居る間に仁兵衛を何とかして救つてやらうと考へた。
菊地源六外一同の者が廣小路の料理屋へ上つて酒を飲んで居るのを儀兵衛は「ア、氣の毒だなア彼のお

「ウム大丈夫だ拙者も食事を致さう」
淺草の廣小路の一才した料理屋へ入つて見通しの座敷で菰包みを庭へ置いて酒を取り肴を取り祝ひ酒をして居る、是れつきり仁兵衛が連れて行かれて了つては

武士に、權兵衛さんに逢つて話をしたら、彼ア云ふ義侠の人だから助けて上げるだらうが
と獨り言を云ひながら我家の門口へ戻る、丁度其時先方から來たのが唐犬權兵衛

「ア、儀兵衛さんか」
「イオ唐犬の親分さん」
「何だお前獨言を言ひながら來たぢやないか」
「え、只今ね、一緒に橋を渡つて來ました」
「誰と一緒に來たんだ」
「まア急がないでお聞きなさい」
「お前が急いでるんだせ」
「へエ今日向島へ行つて花を見て一杯飲んで居りますと何でも濱町邊りに道場を開いてお居るさる江田の仁兵衛さんと云ふ人ださうです、滅法界強うございませうが武家さんが七八人長脇差をさした人が十四五人居た様です、皆んなで二十人餘でした、前から斬り込む後から棒で打込む大變な働きでした、到頭お前さん打倒されてズタ／＼斬りにされて、其れを菰に包んで何でも荒木横町の鳴神の親分らしいと云ふんです家の庭へ連れて行けと云つて擔いで行きました、今其處の小料理屋の松屋で大勢で飲んで居ります、それを見て心持が悪くなつたんです」

10日 検新 機設 お宅の體溫計は?

体溫計の検査日です
◎正確な体溫計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
西村屋藥局
計量器 指定販賣人
電三番

季節鳥料理

やな川
うなぎ
なご
魚榮へ
平田町
電話二四
配達迅速

中村 齒科醫院

平町銀治町七

時計蓄音器レコード眼鏡類

懷中電燈
平町橋樑小路
高橋時計店

露披御轉移

自九月二十日
至同二十四日
五日間
美術裝身具
ライター指輪
時計と眼鏡
市價一割引
景品付
特價提供

山崎時計店
平・五丁目(モリタヤ東隣り)
小野榮吳服店跡

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

●店員募集
年齢十五、六才、希望者は至急來店あれ

石炭

一俵十八錢ヨリ
多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。
平町十五丁目 電話四六番
エビスヤ燃料店
東洋火災保險株式會社平中央代理店